

## 会議録（第3回江府町図書館協議会）

【日時】平成29年9月7日（木）

午後1時30分から3時00分まで

【場所】防災・情報センター 2階研修室

<会議出席者>

### 【委員】

佐々木会長、加藤副会長、小林委員、傘井委員、黒見委員、井上委員、前川委員

### 【事務局】

図書館：中尾司書

教育課：川上課長兼図書館長、山本主査、道下主幹、川上主事

## 1 開 会（事務局進行）

### 会長挨拶

皆さんお忙しい中集まりいただきありがとうございます。江府町の図書館の10年先20年先、町民にとって必要な図書館となるために何をしなければならぬか皆さんの忌憚のない斬新な意見をお願いします。

## 2 協 議（会長進行）

### （1）図書館利用促進に向けて

- ・人的配置、人材活用について
- ・資料整備、施設整備について 等

（会 長） それでは今、事務局から説明があった今後の図書館の方向性について図書館の利用促進について、人的配置など10年20年先のことも考えた長期的視点で議論していきたいと思えます。事務局簡単に説明があればお願いします。

（事 務 局） はい。それでは資料をお示ししていますが、これは各市町村の図書館の状況です。右側に職員の数を示しております。江府町は本町1町で一つの図書館プラス小中学校の学校司書兼務という状態で3名。その他の図書館につきましては町内に何館かある町、それに伴う職員の数、正職員がおられるおられないところもあります。本町では教育課長が館長を兼務していますが、他町では非常勤の館長さんがおられてお金の処理などをされています。うちがもし、庁舎が新しくなって、ここではなくなった時、課長が兼務していますと、ただでさえ司書さんが一人しかいないのに稟議を上げるときに本庁舎まで行かないといけないという状況も生まれてきます。今の人材でもかなりギリギリのところはかなり複雑なローテーションを組んでいただいております。以前にもお話のありました学校司書はいたほうが良いということについてもご協議いただければと思います。今後ますます、もっと家庭教育の分野でも支援が必要と叫ばれていますから乳幼児期についての図書館としてかわれる支援の部分もあると思えますし、生涯学習として一生にわたって学びの場としての図書館を作っていく、江府町の情報発信・情報収集の場としての現在の図書館からさらにグレードアップできる体制をとるにはどうすればいいかもご協議いただければと思

います。予算等についてはこちらでいただいた意見を基にしながら事務局でまとめて、町当局にあげていきますのでよろしくお願いします。来年に向けてとか近いところだけでなくもっと先々、先ほど会長さんもおっしゃられました先々のことも見通してご意見を頂けたらと思いますので、よろしくお願いします。

(会長) そうしますと今、事務局からいただきました資料についての質問と併せて、人的配置などについてご意見がありましたら伺います。

(委員) 最初に少しいいですか。前の協議会の後で小学校と中学校の図書室の見学と倉吉であった図書館の研修会に行ってきました。その話をさせてやってください。図書館大会では私は初めてでしたが、各市町村の図書館関係の方が小単位で集まっておられて結構皆さんお知り合いのような感じがしているような関係性が県の図書館を中心に進んでいるのだと思いました。今回のテーマは居場所づくりということで第3の居場所サードプレイスの話が中心で都市部での子供の貧困という中でただ図書を提供するだけでなく、子供がご飯も食べていない状況にある子供の貧困は全国的に大きな課題だと思いました。研修会に参加してよかったと思います。中学校の図書室はきれいで、新しく整備されており、私も鳥取県の概要を説明する冊子が10冊あるうちの1冊お借りして歴史とか文化を学びました。中学生とどんな本が好きか話をしましたが、全然話が合わなくて、私が読んできた本を彼らは知らないし、彼らが面白いと思う本を私は知らない。こんなことで図書館協議会の委員をやっているのかと思いました。小学校はステンドグラスがあって非常に明るいし、2部屋あって子供たちがゆっくりできるスペースがあって、そして昼休みなど司書の方と楽しそうに話をしており、第1印象としては非常にいい感じで図書室を利用しているのではないかと思います。あと2回の協議会では私なりに考えを深めていきたいとお思います。とりあえず報告までです。

(会長) 図書館大会、いいところに行かれました。県立図書館は全国のトップです。人口は少ないので金額でどうこうは言えませんが、人口に対する県立図書館の県民に対するサービスは全国トップだと思います。それは前の片山知事のころからの取り組みであり、したがって、江府町の図書館も県立図書館から恩恵を受けているので、影響もありますが、まだまだ江府町図書館あたりに来るとかなりの差があります。三朝町などは非常にかんばってらっしゃいますが、江府町図書館はこれからさき発展する部分が多いというつもりで考えていただければ、未開と言っては失礼ですが、江府町図書館は今後伸びしろの多い図書館であると考えていきたいと思います。人口に関係なく図書館は必要ですし、人口が多いから活発だとか少ないから活発でないとか、人口が少なければ少ないなりに、図書館の利用の仕方があろうかと思います。実は子供ばかりではなく大人にも図書館は向上していくために人間形成していくために欠かすことのできない施設だと思っております。ですけども、図書館はあまり文句を言いませんので、ともすると予算のいちばん最初に削られやすい。逆に言うところ削りやすいのが図書館です。書籍も結構高いですけども、やはり3000人の町民がいるのなら、3000人の町民が必要とする本は25万の鳥取市と何ら変わらないと思うわけです。ただ本の数は少ないかもしれないですけども、一応必要な図書は揃えてきた。人間形成そういったものを作っていくには本だけでは生きてきませんので、大人も子供に対してもですけど、人間の知恵、我々の知恵が働いて子供達のため町民のために役立つということを踏まえてご審議いただきたい。

- (委員) もう一ついいですか。今回この議事録を作っていただいて、送っていただきありがとうございます。それからこの前の議事の中で出たテーマを絞ったゾーンを作って並べていただいてありがとうございます。
- (会長) そうしますとレジュメに従いまして人的配置、図書館に携わる人間のあり方、あるいは図書館の職員だけでなく町民全体、他の図書館でもいいんですが、いろんな人が活用する図書館について皆さんのご意見をお伺いしたいと思います。前回の会議でも出てきましたが、今司書さんが全部で3人全部といいますのは小学校・中学校それから町の図書館。保育園はどうですか。
- (事務局) 保育園にも行っていただいたりもしています。
- (会長) 短時間であっても、保育園にも行っているその4か所4つの施設を担当していただく司書さんが合計で3人ですから私にはどう考えても3人でやるのは大変だなと、非常に高等数学で計算された時間配置をされているようですけども、その辺を前回は少し話ができましたが、率直に現在のやり方についていかがでしょうか。
- (委員) 私が教育長として在職していた時も、3人でローテーションを組まれていたように記憶しているが、大体小学校にはどれくらいの時間おられるのですか。
- (委員) 大体1週間（月曜日から金曜日までの間）に20時間程度です。子どもたちからは、今、司書さんおられますか。というような司書さんを必要とする声もよく聞きます。
- (会長) 中学校はどのくらいの時間ですか。
- (委員) 中学校も小学校と同じくらいの時間だと思います。
- (委員) 要望としては、以前にもお話が出ていたように、小学校に1人、中学校に1人ずつ司書さんがつくのがよいと思いますが、財政面などクリアしなければいけない問題が沢山あります。
- (委員) 江府町立図書館は、他町の図書館に比べて開館日数が非常に多い。利点としては、利用者がいつでも本を借りることが出来てよいと思いますが、本の整理や図書館魅力アップの工夫などの貸し出し業務以外の仕事をする余裕が持てているか心配です。
- (会長) 小林委員さん、江府町立図書館と似たような形態で運営している図書館はありますか。
- (委員) そうですね。それぞれの町や人が個々で違うように、図書館も各市町村で個々に違いがあります。その中でも江府町立図書館の勤務環境は厳しいと考えられます。カウンターの当番が回っているから、図書館の仕事が出来ているとは限りません。図書館内の展示をしたり、ブックリストを作るなどカウンターの当番以外にも大切な仕事はたくさんある。その中で学校司書として、小学校や中学校に出かける今の状態はかなり大変だと思います。小学校や中学校など学校側が、図書館に対してどこまで求めているのか、ある程度のミッション、目標を立てることを考えるのが大切なのではないのでしょうか。
- (会長) これから予算の聞き取り等もあると思いますので、この会で図書館についての要望などを整理し、しっかりと資料を作って課長さんへ渡したいと思います。そこから先の町当局との折衝については課長さんよろしくお願いします。
- (会長) 話は変わりますが、県立の全ての高校に学校司書が入ってから、生徒の様子が変わったとよく聞きます。言葉遣いや来客者等への応対がよくなったというのです。また、読み聞かせをする小学校と読み聞かせをしない小学校では学力などにも大きな差があるという話も聞きます。そんな中わが町江府町では、町内4か所の図書関連施設を3人の司書さんで

回している、本当に大変なことだと思います。過労死されるのではないかと心配しています。

(委員長) 会長も心配されているとおり、図書館の職員さんの保障は大切だと思います。

(委員) 本の数や利用者数、職員数が少ないという現状を踏まえたうえで、少なくともできる事、江府町図書館だからできる事を時間をかけながらでも探していかなければならないと思います。

(会長) 司書さんお一人お一人の、勤務時間はどうなっていますか。残業などの状況はどうですか。

(事務局) 1週間に2日間の休暇がとれるように組んであるようです。

(司書) 残業など勤務が長引いた場合は、代休を取るなどの対処をしており、過労死の心配はありません。

(会長) それにしても3人の司書さんでの運営は大変なので、司書さんの本質的な役割を理解してもらい、今後の人材開発も含めた協議が必要だと考えます。

(委員) 私は、江府町の人の本を読まないとは思いません。県全体の人口、江府町の人口それぞれに利用者数はあるので、利用者数をここまで上げたいという目標を設定する必要があります。また、1人1人に合わせたサービスができれば、来たくても来られない人などへの対応もできると思います。江府町図書館としてやれることはまだまだたくさんあると思います。

(委員) 町民さんのニーズ（必要とする情報）をしっかりと把握し、あいきょうなどの協力を得て本を配達できる仕組みを作ればと思います。

(委員) 江府小学校の学校図書便りでは、司書さんの役割を紹介・説明したり、図書のリクエストの利用なども積極的に行っています。学校司書を求める児童の声も多いので、学校司書の配置や予算についても小学校のPTAとしても意見を町に対してあげています。

(委員) 私の赴任する以前は、学校の図書室と江府町図書館のつながりが希薄でしたが、今は連携が取れています。

(会長) 中学校はどうですか。

(委員) 中学校の考えとしては、生徒の興味・関心に応えることはもちろん必要だし、勉強してほしいこと、学んでほしいことを伝えるのも大切なことだと思います。

(会長) 司書さんが各学校にいてくれることは重要ですが、現実的には予算の問題もあり難しい。図書館にこういう本が買ってほしいなどと相談に来る方はいますか？

(司書) 買ってほしいという相談はありませんが、和紙折り紙などのテーマの中で、動物の絵の載った本を探してほしいなどと言った要望はあります。

(委員) 図書館の予算も限られているので、できるだけ図書の購入をせずに、あるもの（県立図書館）を使い倒すぐらいの勢いで利用すればよいと思います。

(会長) 町民からのリクエストや問い合わせはどうですか。

(司書) 前川さんのように図書館を頻繁に利用して使い慣れている方だと、米子図書館や県立図書館など他の図書館からの取り寄せを利用されますが、初めて利用される町民さんなどは説明しても遠慮される方が多いです。

(委員) 江府町は県立図書館からどれくらいの本を借りているんですか。

(委員) 江府町は、約1600冊借りておられます。県立図書館を容易に利用することができるということをもっと多くの町民の方に知ってもらわなければいけません。

- (会長) 話が戻りますが、司書さんがいる事で、子供たちの学習面、人間形成といった面で進歩が大きいです。(特に学校ではより効果がある)しかし、実際は掛持ち勤務のため、小中学校に学校司書がない時間が多く、例えば自習授業の多い学校のような状態だと言えます。
- (委員) 教員の中には、町の図書館にない本が県立図書館から届くということを知らない先生もたくさんいます。
- (会長) そういった様々な仕組みを教えてくれるのも司書さんの大切な仕事です。
- (委員) 私も正直はじめて江府町立図書館に来たときには、私が前に住んでいた街に比べてあまりにも蔵書数が少なかったのが、がっかりしたことを覚えています。図書館にない本は自分で買わないといけなかったからです。しかし、県立図書館からも借りられるという仕組みを知ってからは大いに利用しています。また、図書館職員の待遇ですが、アメリカでは図書館司書は大学教授並みの扱いを受けているそうです。江府町立図書館の職員の待遇についてもこの会でしっかり考えることが大切なのではないでしょうか。
- (委員) 学校にも図書館運営委員会というのがないと聞いたのですが、学校の図書館運営委員会と我々の図書館協議会の関係性はこういったものですか。
- (委員) 学校の図書館運営委員会は、学校内の図書館の運営に関する話し合いの場であり、この図書館協議会とは別のものです。
- (会長) 時間が限られていますので、この議題については次回も話をすることで、次に資料の整理について、こういった資料が多いですか。司書さん説明をお願いします。
- (司書) 大人の図書も子供向けの図書も半々ぐらいの割合で所蔵しています。
- (会長) 利用者によって、本の偏りなどはありませんか。
- (司書) 利用に関して言いますと、バス待ちで子どもたちがよく利用します。逆に休日は子どもも含めて利用が少ないです。本の偏りについてはないと思います。
- (会長) 年間の資料代・図書購入費はいくらぐらいですか。
- (事務局) 小中学校はそれぞれ40万円で、町立図書館は100万円です。
- (委員) 小学校は以前は50万円だったのが、10万円削られたように記憶しています。
- (会長) 中学校どうですか。
- (委員) 中学校も同じだと思います。
- (会長) 保育園、小学校、中学校、大人、高齢者など図書館を利用される方の対象が幅広いので、それをまんべんなくカバーするのが望ましいですが、実際問題難しいので、優先順位をつけて、小さな予算でもできることからしっかりと取り組んでいくことが大切だと思います。
- (委員) 以前の協議会でも話が出ましたが、江府町立図書館の利用者は小中学生及び60代の方が多いということから、ターゲットをどこに絞るかが大切。例えば今、利用者の多いところを伸ばすとか、そういう取り組みが必要。例えば、小学校にはhow to本(植物の育て方)などの本が多いので、親など保護者にも興味関心を持ってもらうことで、子供にもいい影響があるのではないかと思います。また、老人会や区長会などの場でも図書館のことを話題にし、利用促進の紹介をしたいと思います。
- (委員) 私は、先日から農業新聞を取っています。日本海新聞などには農業の記事が少ないからです。江府町立図書館には農業新聞がありません。農業は江府町の基幹産業なので、江府町立図書館でも情報収集をできるようにしておいた方が良くはないでしょうか。

- (委員) 図書館で新聞を置いている点でいちばん重要なことは新聞を集めてみるができる点です。過去のあの記事が見たいという時にふりかえってみることができるのが図書館のいいところです。
- (事務局) 農業新聞は農業委員会、建設新聞は建設課、議会にも新聞があるといったように各課がそれぞれに新聞を取っている状態です。保存期間については不明ですが、各課で読み終わった新聞を提供いただくことは可能だと思います。これはとてもいい案だと思います。
- (委員) 図書館の開館についてですが、開館日数が多いからよいというものではないと思います。図書館先進県と言われる滋賀県ではほとんどの図書館が毎週月曜日と火曜日の2日間を休館日としているところが多いそうです。その理由は休みのときに町の中を歩き、その町の課題やその町のニーズを調査しているのです。こういう活動が図書館の魅力アップや利用促進につながってくるので、江府町図書館が施設の都合上やむを得なく開けているのであれば、何か工夫をする必要があるのではないのでしょうか。
- (事務局) 江府町立図書館の場合、複合施設であるため、また、教育委員会が入っていることもあるため開館日数が多くなっていますが、教育委員会が抜けてしまえば、開館日数も減少すると思われま。
- (会長) 教育委員会はこの防災情報センターから99%抜けるということで決定なのですか。
- (事務局) まだ100%決定という訳ではないのですが、役場の業務的なものは1か所に集約する考えだと町長も言っております。
- (会長) では、教育委員会が移動した場合は、図書館のスペースが増えるということも期待できますね。江府町立図書館には書庫はありますか。
- (司書) 書庫はないのですが、古い本や郷土資料などは調理室横の倉庫に保管しています。
- (委員) 郷土資料なども目に付くところに配架するのがよいのではないのでしょうか。
- (会長) 郷土資料は貴重なものがあり、持って帰ってしまう恐れもあるので、できれば鍵のついた書庫で保管し、必要のある時だけ司書さんが出すようにした方がよいと思います。
- (委員) 郷土資料以外は、あまり保管しなくてもよいと思います。保管するよりも、無料コーナーのような形で町民に還元するのがよいと思います。
- (会長) 図書の配架についてですが、2階の廊下に配架してある本については、私は明德学園のある時にしか見ません。やはり図書館は1フロアにした方がよいと思います。そのうえで、大活字本などのお年寄り向けの本、子供向けの本などコーナーを分けて同じ階で利用できるようにしたらよいと思います。また、先程も申し上げましたが、郷土資料については、書庫でしっかりと保管した方がよいと思います。
- (委員) この会も含めて行政の会議録などもふり返られるように、バックアップが必要なのではないのでしょうか。
- (会長) 行政の公文書については保存期間がありますし、個人情報もありますので、出せないものがたくさんあると思います。
- (会長) 図書館は育児についての本など役に立つ本を置くことが大切だと思います。
- (委員) それも大切だとは思いますが、行政の記録や情報収集をすることも大切だと思います。
- (委員) 図書館の立場としては、情報はすべて見せる・開示するというのが基本スタンスですが、行政の情報については、総務課が情報公開については判断しますので、図書館で一概に情報公開は出来ません。

(事務局) 今回の図書館協議会の議事録についてはホームページでもアップしておりますので、ご覧ください。それ以外の個人情報等のふくまれる議事録等の情報公開請求につきましては総務課の方へお願いします。

(委員) 教育委員会や公民館が防災情報センターから抜けた際の職員の安全の確保についてよろしくをお願いします。

(会長) そうですね。図書館が独立した際の職員の安全の確保などケアをしっかりとお願いします。

(事務局) 今、庁舎を建設するにあたって町民さんの意見を集めているところです。公開会議など議論の場を設けていますので、積極的なご意見をお願いします。来年度から設計にあたり平成32年度には完成となります。

(会長) わかりました。図書館としての意見をしっかりとまとめて話ができるようにしていきたいですね。

## (2) 次回協議の柱について

(委員) まとめはどういう形になるのですか。

(事務局) すぐに行動に移せることはやっていますし、来年、長期的な将来的な視野でも考え、町長等町当局へ要望を挙げていきたいと思えます。その時の資料として次回は具体的な目標等について考えていきたいと思えます。

(会長) 保育園、小学校、中学校、100年先の将来のことも含めて図書館の役割を考えなければなりません。また、町民の数には関係なく子どもたちがたくましくすこやかに成長していくよう、そういった世代に図書館としてもスポットを当てて支援していきたい。時間が来ましたので以上にしたいと思えますが、これだけは今日言っておきたいということがありましたら、お伺いします。

## 3 その他

### 学校図書館支援センターについて

(委員) 学校図書館支援センターの役割について教えてください。(教材の支援等)

(委員) 学校図書館支援センターでは、学校支援の教材などをセットで購入しており、各小学校図書館の必要に応じてコーディネートしています。

### 第4回の会について

(会長) 本日はこれで終了したいと思います。

(事務局) 次回は10月3日(火)午後1時30分より始めたいと思えます。

## 4 閉会